

令和2年第2回木津川市議会定例会

請　願　文　書　表

受理番号	受理年月日	件　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
2-2	令和2年 5月28日	感染症対策と市の危機管理機能を強化するため城山台小学校「過大規模校」の解消を求める請願書	<p>去る3月議会に、同会より城山台小学校「過大規模校」の解消を求める請願書を提出し、議会での議論をしていただきました。しかしながら、その時点と現在の状況は大きく変化しています。</p> <p>ご承知のように、4月16日、国において新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく、「緊急事態宣言」の対象地域を全国に拡大することになり、重点的に感染拡大防止の取り組みを進める必要があるとして、京都府も「特定警戒都道府県」と指定されました。また、文部科学省は、5月1日に、学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する懇談会の提言を発表し、「社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識」を示しました。子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ権利が保障されるために、学校での3密を避ける取り組みをより強力に行う必要があります。</p> <p>市の教育委員会より情報公開された資料には、分離新設等が検討され、候補地もあげられています。水道配水池西側や城址公園（多目的G）案は、校舎配置図や通学路想定図など具体案も出されていますが、特に都市公園の代替用地が必要なこと、都市計画変更に時間がかかることを理由に設立は不可能という見解でした。しかしながら都市公園法第16条の解釈により代替用地に関してはクリアになるのではないかでしょうか。また東京都杉並区では平成28年度に区長による「すぎなみ保育緊急事態宣言」を発令し、都市公園内に保育園設立を決定。その1年後には運用をスター</p>	<p>こどもの未来を考える 城山台パパママ会</p> <p>木津川市城山台 菱井 一宏</p> <p>木津川市城山台 中川 恵</p> <p>木津川市城山台 今堀 茜</p> <p>木津川市城山台 菱井 結</p> <p>木津川市城山台 藤上 サユリ</p> <p>木津川市鹿背山 柯 千絵</p> <p>木津川市木津町 太井子 紀代子</p> <p>木津川市木津川台 宮島 邦枝</p> <p>木津川市鹿背山 水島 真理</p> <p>木津川市木津 林 宣雄</p>	森 本 茂 宮 嶋 良 造 山本 しのぶ	総務文教 常任委員会

		<p>トさせた例もあります。その他、スピード感を持って大胆な規制・制度の緩和を行う、規制改革制度「国家戦略特区」があります。これまでに、用地確保が困難な都市で「国家戦略特区」を活用し、公園内に保育園設置の解禁をした例もあります。今回城山台の過大規模校の解消を図る為にも、杉並区と同様の「緊急事態宣言の発令」、「国家戦略特区」は大きな解決方法だと考えます。</p> <p>地域の子どもの教育を守るという意味において、地域住民の理解と協力を得ながら国や府の協力を得て、柔軟かつ大胆な措置を講じることが今こそ求められています。</p> <p>また、小学校または分校を城址公園に建てた場合、災害対策の拠点として役割を持たせることで、城山台地区の児童急増問題だけでなく、木津川市全体の課題を解決する有益な施設にすることができます。</p> <p>近年では、各地で豪雨災害による甚大な浸水被害が増発しており、木津川が流れる当市もいつその被害を受けることになるかわかりません。有事の際に拠点となる市役所や警察署、総合病院、保健所などが浸水被害を受けることとなり、災害時の活動に支障をきたす大きなリスクだと考えます。有事の際に避難場所として利用できない施設が多い中、高台である城山台に避難所がある事で、市の危機管理機能が強化され、市民の安心・安全に繋がるのではないかと思います。</p> <p>さらに児童急増問題が解決したのちには、図書館や役所の機能を移す、民間施設の誘致などをする事で、今の課題と将来も使い続けられる持続発展可能な施設にする事もできると考えます。</p> <p>以上をふまえて以下の事を請願します。</p> <p><b>請願項目</b></p> <p>市全域を見据え、災害時の拠点としての活用も可能となるよう、城山台地区に小学校の分離新設または分校設置を行うこと。</p>	<p>木津川市相楽 田中 恒子</p> <p>木津川市城山台 高瀬 千尋</p> <p>木津川市州見台 角井 正幸</p> <p>木津川市木津町 藤河 純子</p>	
--	--	---	--	--